

排水ポンプ車

5月14日に苫小牧港から仙台港経由で東松島市に入りました。消防、自衛隊の捜索活動の支援で、東名運河の海水の排除作業です。ある個所の排水を終えると次に移動しての排水という状況でした。

作業中は自衛隊員との接触があり、地域社会、家族などについて考えさせられました。

5月29日に東名運河での作業が完了し、排水ポンプ車を岩手県みちのく杜の公園の車両基地に移動させて、一連の支援を終了しました。



排水作業中

排水作業後

3月15日から5月29日まで当社3支店1営業所が災害復旧支援に参加しました。被災地一帯はテレビ映像からの想像をはるかに超える被災状況でした。余震が続き、再度の津波を気にしながら、また、地域によっては放射能を心配する状況ではありましたが、被災地域の一日も早い復旧・復興を信じて頑張ることができました。

なお、これらの活動を評価していただき、北海道開発局長表彰を3支店1営業所に授与されました。大変光栄なことですし、これからも訓練を重ね、適切な災害支援ができるように精進する所存です。

情報化施工関係の皆様待望の一冊

情報化施工の実務

発刊のご案内

平成22年7月23日 社団法人 日本建設機械化協会

平成20年7月に「情報化施工推進戦略」がとりまとめられ、国土交通省の行う直轄事業の「道路土工、舗装工、河川土工については、2012年までに情報化施工を標準的な施工・施工管理方法とする」ことが位置付けられました。また、平成21年3月に閣議決定された「社会資本整備重点計画」においても「情報化施工の普及を促進する」とされたところです。

当協会におきましても、これらを踏まえ、昨年11月に情報化施工の入門書として「情報化施工ガイドブック2009」を出版致しましたが、依然として情報化施工に関するテキスト、実務参考書は十分とは言えず、情報化施工に携わる人材を育成し、普及を促進していくためには、その充実が望まれているところです。

そのため、この度、第二弾として情報化施工の中でも主要な技術であるマシンコントロールシステム（MC）、マシンガイダンスシステム（MG）に必要な三次元設計データの簡便な作成方法等MC、MGの実施に当たって必要な実務的な事項をとりまとめた「情報化施工の実務」を発刊致しました。

つきましては、実務者に必携の書として建設業者はもとより発注者、レンタル業者、建設機械メーカー等も含めまして情報化施工に関係される皆様には是非ご利用いただきたくご案内申し上げます。

敬具

- ◆特徴
 - ・国土交通省が定めた情報化施工に関する各種基準等を踏まえた内容。
 - ・図、写真、表を使い読みやすく理解しやすい構成。
 - ・MC、MGを対象に記述。
 - ・特に、実施に当たって課題となる三次元設計データの作成について詳細に記述。

◆定価（税込み）

会員：1,800円（本体1,715円）、一般：2,100円（本体2,000円）（送料400円は別途いただきます。）

